

令和3年度 現職者共通研修⑩「事例報告」

演題募集の延長

演題の応募をいただきましたので事例検討会は開催いたします！
発表枠に少し余裕がありますので、12月27日まで発表者募集を延長します。

第2回 事例検討・報告会 発表者募集

主催：(一社) 沖縄県作業療法士会

開催日：令和4年2月6日(日) 9:00~12:00(予定)

会場：Web開催 (Zoomを使用)

申し込みから発表までは下記の流れになります！

①発表申し込み メールにて必要事項をお送りください。
締め切り：~~12月20日(月)~~→**延長しました12月27日(月)**

②レジュメの提出 メールにて必要事項をお送りください。
(A4にて1~2枚)
締め切り：1月28日(金)

③発表 グループワーク形式での事例検討

参加者みんなで、その事例が教えてくれている
ことを整理していきます。
結構和気あいあいとした雰囲気が進みますよ！



申し込み方法、レジュメの作成方法などの詳細は、案内2枚目をご参照
ください。

なお、事例検討会への参加者募集は後日、改めてご案内いたします。

事例検討・報告会 発表者募集要項

発表者は日本作業療法士協会および沖縄県作業療法士会の会員である必要があります。本会での発表は日本作業療法士協会生涯教育制度の現職者共通研修⑩「事例報告」の履修にあたります。

発表申し込みについて 締め切り：令和3年12月27日（月）18：00

申し込み：→<https://forms.gle/Z6H3GMYZagXyHpfUA>



あるいはメールで okiotakyouiku@yahoo.co.jp へ

上記サイトあるいはメールに下記内容をご記載いただきます。

- ①日本作業療法士協会会員番号 ②会員氏名 ③所属施設名
- ④今年度 OT 協会・県士会両会の会費納入をご確認の上、「会費納入済み」のチェック
- ⑤発表予定演題タイトル（仮で構いません） ⑥発表事例の主な診断名
- ⑦発表事例の主な症状

(例：麻痺、筋力低下、注意障害、対人交流技能の低下、耐久性の低下、易怒的、異食など)

- ⑧主な報告のポイント（複数可）

(例：身体機能改善の練習方法、ADL 動作の獲得練習方法、退院調整の工夫、福祉用具の導入、家族の教育と支援 など)

※⑤～⑧はアドバイザーの選定の参考に使います。現時点で書ける範囲の情報をご記載ください。

※その他連絡事項がありましたら、合わせてご記入ください。

発表レジュメの提出について 締め切り：令和4年1月28日（金）18:00

※当日の発表ではこのレジュメとは別にご準備いただく PowerPoint でのプレゼンテーションをお願いいたします。PowerPoint の原稿の提出は不要です。PowerPoint の枚数の規定はなし。必要に応じて動画などを入れていただいても結構です。当日は発表 10 分、質疑応答 35 分程度を予定しています（応募演題数によって変動する可能性があります）。

提出：メールにて E-mail： okiotakyouiku@yahoo.co.jp

レジュメはワードにてご作成ください（フォント、段組みなどの指定なし。A4 で 1~2 枚）。

形式も自由ですが、内容に合わせて項目だてをしてください。

例 1) 【はじめに】【事例紹介】【開始時所見】【経過】【介入後所見】【考察】

例 2) 【報告の目的】【事例紹介】【作業療法評価】【介入の基本方針】【作業療法実施計画】
【介入経過】【結果】【考察】

★受講料 事例検討のみ（聴講のみ）：1,000 円、事例検討と事例報告（聴講と発表）：2,000 円、事例報告のみ（発表のみ）：1,000 円

★事例検討参加者（現職者共通研修⑩「事例検討」）の募集は、後日改めて案内いたします。なお、発表者もほかの発表者の討議に参加することで「事例検討」の受講認定が得られます。

問い合わせ先：（一社）沖縄県作業療法士会教育部生涯教育班 土田真也

※メールのみの対応といたします E-mail： okiotakyouiku@yahoo.co.jp（携帯からも可）